生涯学習だより

鶴田町教育委員会
社会教育課
☎59-2022
FAX59-2085

第五回 あじさい運動推進大会より

「町民総ぐるみで　心豊かで
たくましい　青少年を育てよう」
をテーマに第五回青少年健全育成（あじさい運動）推進大会が中央公民館大ホールで7月6日（日）開催され、町内外から約二百名の参加をいただきました。

鶴田中学校吹奏楽部の皆さんによるオープニング演奏で幕を開け、「家庭の日」にちなむ標語・作文の表彰・作文発表（迫田純奈さん）鶴田校区青少年育成推進協議会（たけのこ育成会）活動発表（市來浩二さん）、派米事業体験発表（栗野愛里さん・登尾健太さん）ふるさと学寮体験発表（市來千幸さん）、朝読み・夕読み活動発表（大願寺子ども会　角　春江さん）がありました。参加者から「内容が充実していてとてもわかりやすいでした。」「子どもたちや保護者の方々の日頃の頑張ってらっしゃる姿を拝観でき感動しました。」などの感想が寄せられていました。

その後、「陶房雑話」と題して、十五代　沈壽官先生による講演がありました。参加者から、「国際経験豊かなお話、興味深く聞けました。」「人は心（精神）なり、人間の生き方を学んだ。」「日頃の生活や歴史を含む先生の人生観を聞かせていただき、広い世界から見た日本人の姿を知ることができよかったと思います。」などの感想が寄せられていました。

この大会を機会に「家庭の日」の過ごし方を家族で見直し、「家庭の日」発祥の地として町づくりに生かし認識を高めていきましょう。

おめでとうございます。

〈入賞者紹介（特選）〉（敬称略）

○標語の部

鶴田小　一年　岩﨑　舞
「できるんだ　ちっちゃなちっちゃな　おてつだい」
柏原小　二年　迫間　絵里
「あかるいえがお　わらいごえ　それがかぞくの　たからもの」
鶴田小　三年　山元　美咲
「行ってきます　いってらっしゃい　家族の笑顔がうれしいな」
鶴田小　四年　外園　晃一郎
「かていの日　かぞくのきずな　ふかくなる」
鶴田小　五年　山下　幸志
「大切な　家族のよさを　見つけよう」
柏原小　六年　上大迫　翔
「家庭の日　にこにこえがお　花さいた」
鶴田中　一年　栗野　みすず
「心の輪　家族みんなで　つなげよう」
鶴田中　二年　栗野　愛里
「帰ろうよ　笑顔の家族が　待つ家へ」
鶴田中　三年　鰺坂　沙代子
「幸せな　家族の笑顔が　広がる日」

○作文の部

柏原小　四年　迫田　純奈
「家族大すき」
柏原小　五年　本田　茉莉恵
「家族といっしょ」
鶴田小　六年　平木　美香
「協力的な家族」
鶴田中　一年　西之園　美穂
「日帰り家族旅行」
二年　前田　紀子
「家族のつながり」
三年　上之園　理早
「うちの家族」

「家族大すき」

柏原小　四年　迫田　純奈

わたしの家族は、お父さん、お母さん、わたし、妹の四人家族です。

お父さんは、宮のじょうの工場ではたらいています。自動車の部品を作っている工場です。朝早くお仕事に行って、夜おそくに家へ帰ってきます。仕事から帰ってきたお父さんは、すごくつかれていてきげんもあまりよくありません。そんな時わたしは、

「お父さん、お休みが少なくて、つかれていてかわいそう。」

と思います。するとお母さんが

「じゅんさん、かたをたたいてあげれば。」

と声をかけてくれるので、

「うん。」

と言ってお父さんのかたたたきを始めます。妹のあかねと百回こうたいで、かたたたきをします。かたたたきをしてあげると、お父さんは、

「ありがとう。」

と、いつのまにかえ顔になります。お父さんがえ顔になると、わたしも妹もそしてお母さんもえ顔になります。お父さんのえ顔、大すきです。

お母さんは、花の仕事をしながら家の仕事もしているのでいそがしそうです。仕事でつかれてぐったりしているのに、それからわたしたちのために夕ごはんのじゅんびをしてくれます。少しでもお母さんが楽になるようにわたしと妹はお母さんの手伝いをします。ごはんをついだり、おふろそうじをしたり。お母さんは、やさしくて、たまにわたしたちをしかってくれて、おいしいごはんも作ってくれて、たまに遊んでもくれるので大すきです。

妹は、二年生です。家では、おもしろいことをして家族みんなをわらわせてくれます。妹といっしょによく宿題をします。いっしょにピアノをひいたりもします。二人でごっこ遊びをしたりもします。でも、一日一回は必ずけんかをします。物をとり合ったり、悪口を言い合ったり、たまには、けったりたたいたりすることも。でも、わたしは妹が大すきです。だってわたしをたよってくれたり、わたしにやさしくしてくれたりするからです。

わたしは、家族のみんなが大すきです。やさしくて、こわくて、明るくてえ顔がすてきな家族です。お父さんお母さんは、わたしをおこるとすごくこわいですが、おこるよりわらっていることの方がとても多いです。わたしは、え顔いっぱいの家族にいつまでもなれるようにがんばります。

お父さん、お母さん、あかね、これからもよろしくね。

ふるさと学寮『わかあゆ塾』無事終了！

町教育委員会では、7月12日(土)から15日(火)まで三泊四日の日程で、ふるさと学寮「わかあゆ塾」を紫尾神の湯キャンプ場をメイン会場に実施しました。

今年は天候に恵まれ、すべてのプログラムを実施することができました。

参加した子どもたちは、昨年を大幅に上回る町内の小学生22名・中学生8名の計30名。

パターゴルフ、クラフト活動、野外炊飯、アルテンハイム「鶴宮園」訪問、ボランティア活動、カヌー体験、灯火の集いなどを家庭を離れ、年齢の異なる集団の中で経験しました。

保護者からは「テレビ・ゲームのない時を過ごすことができてよかったです。朝も早く起き自分の食べた物もきちんと片付けられる様になりました。」「親元を離れての三泊四日という期間は子どもたちにとって長かったのかなとは思いますが共同生活や盛りだくさんの活動等ほんとに素晴らしい体験ができたと思います。」などの感想が寄せられました。

子どもたちは、今回の体験を生かして学校や地域で積極的に活動してくれることを心から期待しています。

紫尾区高校生クラブ 親子交通安全教室」開催

7月27日（日）紫尾区公民館で紫尾区高校生クラブ父母の会主催「親子交通安全教室」が開催されました。親子でビデオを視聴した後、宮之城警察署交通課長有木園芳輝警部の講話があり、

「若い世代の事故の中でも高校生によるバイク事故が一番多い。事故の形態は、交差点での出会い頭事故が半数を占めている。事故を防ぐ対策として、徐行運転を心がけてもらいたい。」

と道路交通法のクイズを取り入れながら高校生に話していました。

参加した紫尾区高校生クラブ会長の松崎拓己さんは

「久しぶりに交通安全について勉強した。いつも気にかけていないことがとても大事なことだと分かった。これからも一時停止などきちんとしたい。」

と感想を話していました。

宮之城地区交通安全協会鶴田西支部副会長の川口憲男さんは、

「二十年くらいこの仕事をしているが、高校生クラブがこのような法令講習会をするのは初めて。ぜひ鶴田町の他の区でも実施し、事故防止に努めてもらいたい。」と話されていました。

交通事故0を目指し、家庭や地域で交通安全に心がけましょう。

鶴田町人権同和教育講演会」のお知らせ

8月は「人権同和問題啓発強調月間」です。県では、この期間内にテレビやラジオ、新聞等による広報・啓発活動が実施されます。

本町でも、同和問題をはじめとする様々な人権問題についての正しい理解と認識を深め、人間尊重の精神を養い、偏見や差別をなくしていこうとする意欲と実践力を持った人間を育成するため、町民に対し学習の機会を提供する趣旨で「人権同和教育講演会」が開催されます。

同和問題をはじめとする様々な人権問題の本質やその他の人権問題の解決に向けての取り組み、よりよく生きるためにわたしたちはどうすればよいのかなどについて学習するよい機会と思います。

誰もが自分自身の心に他を差別する意識があることに気づき、身近なところから偏見・差別の意識を解消していきましょう。

町民の皆様の多数の参加をお待ちしています。

○期　日
8月26日（火）10：15～12：00
○会　場
鶴田町中央公民館大ホール
○講　師
尾嵜　一治　氏
（鹿児島県部落解放史研究委員）